

# ホスピタリティ入試対策講座

## 課題レポートの書き方、まとめ方

---

# 課題レポートのチェックポイント

## ① 自分の考え方が述べられているか？

- 「調べたこと」を書くだけではダメです。「調べたこと」に基づいて、「自分は何を考えたのか」を書きましょう。

## ② 自分の考え方の根拠となる「資料」や「データ」が示されているか？

- 「資料」や「データ」を用意することで、自分の考え方を明確に相手に示すことができます。資料やデータを集めて提示しましょう。現地調査など、自分で集めたデータを示すことも大変効果的です。

## ③ 自分がアピールしたいこと、伝えたいことがキチンと書かれているか？

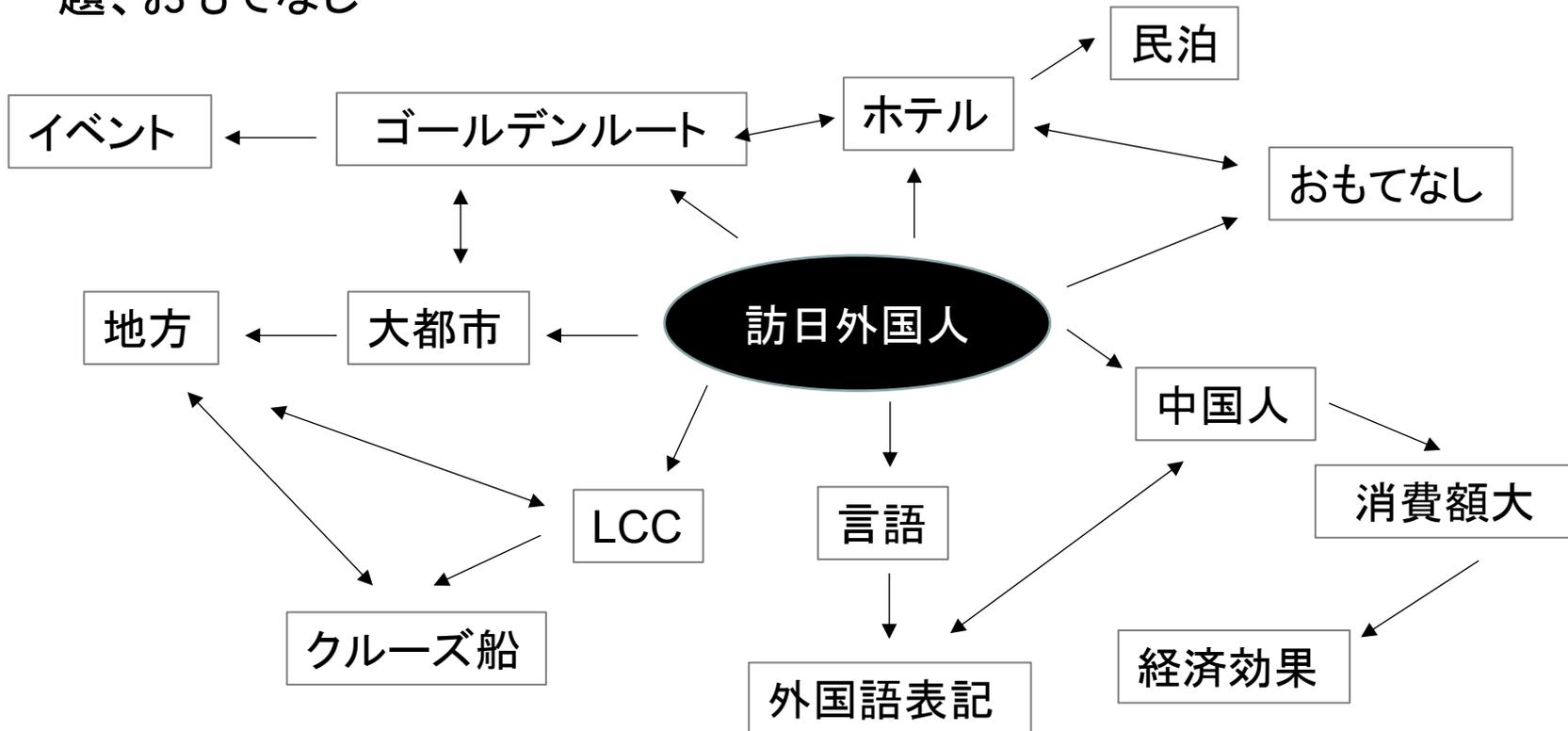
- 自分の意図がキチンと伝わるかを確認しましょう。

# レポート作成の準備作業

## • キーワードの書き出し、マッピング

(例)外国人を増やす方法？

ゴールデンルート、訪日外国人、インバウンド、消費額大、中国人、LCC(格安航空会社)、円安、北海道、沖縄、クルーズ船、ホテル、英語、言葉の問題、おもてなし……



# レポートの構成について(例2)

トピック  
センテンス 10%

自分の考えや主張、  
このレポートで言いたいこと  
「これから何を明らかにするのか」

サポーティング  
センテンス  
70~80%

自分の考えや主張を支える  
定義、事例、根拠、説明などを示す

コンクルーディング  
センテンス  
10~20%

結論、残された課題など

# レポートのアウトライン(設計図)の作成

序論、本論、結論の中でそれぞれ書きたい内容を箇条書きにする。

レポートの全体の流れを意識することを忘れずに。

アウトライン(レポートの設計図)の完成

箇条書きにした項目ごとに文章を作成する。



# レポートの書式について

# レポートの書式の注意点

- 誤字脱字がないか、確認してください。
- 主語、述語、目的語が明確か、確認してください。
- 丁寧に書きましょう。なぐり書きは熱意を疑われます。
- 資料類は別紙としてください。資料ナンバーをつけて、それを本文中で参照するようにしてください。

例:「図表1に示す通り、・・・は対前年度10%で増加しており」



# レポートの体裁について

# レポートの体裁について

- 文章の書き方は「です・ます」調よりも、「である」調の方が望ましいです。
- 話の内容が変わるときは文章を改行し(段落をつける)、次の段落の始まりは必ず一文字下げましょう。
- 一つの文章にあまり多くの内容を詰め込まず、適度な長さで文章を切るようにしましょう。文と文をつなぐ接続詞の使い方が重要です。
- 参考文献やサイトから引用する場合は、必ず出典元を明らかにしましょう。コピー厳禁！

# 改行・段落なし(悪い例)

2015年にわが国を訪れた外国人は1973.7万(年度ベースでは2135.9万人)に達し、3年連続で過去最高を更新した。2016年も前年を上回るペースで訪日外国人の増加が続いている。政府の当初目標は「2020年までに訪日外国人旅行者数2000万人」ということであったが、この目標は早々に達成され、現在、政府は「2020年までに4000万人、2040年までに6000万人」というさらに高い目標を掲げている。一方、日本人の海外旅行者数はここ数年、微減傾向が続いている。今後の人口減少や少子高齢化の進展、若者の海外旅行離れなどの要因を考えると、日本人の海外旅行者数大幅な増加に転じることは想定しにくく、今後とも緩やかに減少していくことになるだろう。2015年は大阪万博があった1970年以来、実に45年ぶりに訪日外国人旅行者数が日本人海外旅行者数を上回ったが、今後もこの傾向が続いていくものと予想される。観光白書によれば、日本人一人当たりの国内宿泊観光旅行の回数と宿泊数は、長期的に微減ないし横ばい傾向にある。また、国内宿泊旅行と日帰り旅行の延べ人数もここ数年ほぼ横ばい傾向にあり、訪日外国人の活況とは対照的な動きを示している。

# 改行・段落あり(良い例)

2015年にわが国を訪れた外国人は1973.7万(年度ベースでは2135.9万人)に達し、3年連続で過去最高を更新した。2016年も前年を上回るペースで訪日外国人の増加が続いている。政府の当初目標は「2020年までに訪日外国人旅行者数2000万人」ということであったが、この目標は早々に達成され、現在、政府は「2020年までに4000万人、2040年までに6000万人」というさらに高い目標を掲げている。

一方、日本人の海外旅行者数はここ数年、微減傾向が続いている。今後の人口減少や少子高齢化の進展、若者の海外旅行離れなどの要因を考えると、日本人の海外旅行者数大幅な増加に転じることは想定しにくく、今後とも緩やかに減少していくことになるだろう。

2015年は大阪万博があった1970年以来、実に45年ぶりに訪日外国人旅行者数が日本人海外旅行者数を上回ったが、今後もこの傾向が続いていくものと予想される。観光白書によれば、日本人一人当たりの国内宿泊観光旅行の回数と宿泊数は、長期的に微減ないし横ばい傾向にある。また、国内宿泊旅行と日帰り旅行の延べ人数もここ数年ほぼ横ばい傾向にあり、訪日外国人の活況とは対照的な動きを示している。

# 出典元の示し方

- 文章を引用する場合

- 引用する部分を「 」でくくる。

- (例) 小島(2016)では、「……………」と指摘されている。

- 引用は必要最小限にとどめることが望ましい。

- 文章を参考にする場合

- (例) 観光白書によれば、……………ということである。

**コピーは厳禁、必ず出典元を示しましょう。**

# 参考文献の書き方

- 引用した文献、参考にした文献やサイトは、レポートの最後にまとめて記載してください。
- 記載順は五十音順、引用順のどちらでも構いません。

(記載例)

参考文献

観光庁『観光白書 令和4年版』

観光庁ホームページ <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>

小島克巳(2016)『観光交通ビジネス論』成山堂書店

戸崎肇(2010)『図解 これからの航空ビジネス早わかり』中経出版